

庁議の概要

開催日 平成 30 年 7 月 10 日（火）

◎項 目

- 1 各部署等の今週の動きについて【各部署等】
- 2 災害に伴う今後の対応等について

◎内 容

- 1 各部署等の今週の動きについて【各部署等】

各部署等の今週の動きに関する資料を配付の上、各部署等による概要説明及び協議が行われた。

<主な協議の概要>

○ ハラスメント対策研修の実施について

（総務部）

7月13日に管理職員向けのハラスメント研修会を午前と午後の2回に分けて実施する。また、13日に受講できなかった方のために同月19日にも実施することとしており、全員に受講してもらい、各種ハラスメントに関して再確認をしていただきたい。

○ 厳しい環境にある子どもたちへの支援について

（地域福祉部）

7月9日に、高知市社会福祉協議会及び高知市スクールソーシャルワーカーと、厳しい生活環境にある子ども達への支援について情報交換会を開催し、子ども食堂などの取り組みについて協議を行った。

秋には、実際に子ども食堂を運営している方と、スクールソーシャルワーカーの方との顔合わせを行うとともに情報交換会なども考えている。

○ 鳥獣被害対策の推進について

（中山間振興・交通部）

7月9日と10日の2日間、鳥獣被害対策専門員会を開催している。平成32年度までに500集落の被害を軽減することを目標に取り組んでおり、これまで対策を講じた集落についてフォローアップを行うため、専門員が今後の取り組みについて情報共有を行うものである。

また、7月12日には、市町村の職員を対象に捕獲情報収集システムの操作研修会を開催し、狩猟免許の管理や捕獲情報の登録等を適切に行えるよう研修会を実施する。

- 2 災害に伴う今後の対応等について

災害の発生に伴い、現在の被災状況の説明や今後の対応等について協議が行われた。

<主な協議の概要>

○ 被災状況等について

(危機管理部)

災害で、現在行方不明となっている2人の捜索について全力を挙げて行っている。

併せて、被災された方々の命をつなぐ、生活を立ち上げるステージについても力を入れていかなければならないと考えている。職員を被災した各市町村に派遣し、避難所や孤立地域、床上・床下浸水等の状態などの被災状況の把握及び情報収集に努めている。今後も各部局には災害対応について協力をお願いする。

(総務部)

総務部からも、各部局に対して職員の派遣などの協力を要請するので、対応をよろしく願う。

○ 今後の対応について

(知事)

災害の発生に伴い、各部で対応を実施していただいているが、災害対応ということから、早急かつ柔軟な対応が求められている。

災害対応の優先順位として、まずは命を守る対策を優先していただきたい。

災害直後から様々な対応を進めてきて、今の段階では行方不明者の方の捜索が非常に大きな課題であると考えている。併せて、応急期、復旧期初期の対策も重要であり、避難者の方々、床上・床下浸水をされた方々、孤立をされている方々へのケア等も非常に大きな課題である。県としても、各市町村への支援にさらに力を入れていく。特に被害の大きかった宿毛市、大月町、安芸市などからは、専門家の派遣やマンパワー（人材）が欲しいなどの要望があり、これらの要望には、早急かつ柔軟に対応していきたいと考えている。

各部局が担う様々な災害対応があると思うが、各部が復旧に向けた支援の後押しを全力でしっかりとお願いしたい。

また、産業振興系の部局となるが、6月末から7月頭に掛けてのダメージを取り返すべく、世の中の気持ちに配慮しつつ頑張ってもらいたい。

先々の話になるが、今は台風8号が発生しているが、すぐに次の台風が発生すると思われる。これだけの大雨の後に台風が来ると、県下ではさらに被害が拡大することが予想されることから、今後の台風などの災害に対する備えも始めなければならないと考えている。

さらに、可能であれば他県への支援も考えている。

そういったことも念頭においていただき、全力での対応をよろしく願う。